

議会質問

◆◆一般質問◆◆

(平成30年2月21日)

◆復興公営住宅のコミュニティ支援について

質問: 復興公営住宅入居者等の交流の機会づくりを進め、被災者のコミュニティ形成に向けた取り組みへの支援を行う「被災者交流支援事業」について、平成30年度も、多くの団体が活用できるよう周知の強化と平成31年度以降も引き続き財源を確保し取り組むべき。

答弁: 来年度も引き続き、社会福祉協議会など関係団体と連携しながら、丁寧な周知に努め、平成31年度以降の事業継続に必要となる財源の確保に向け、国に対して要望等をおこなってまいりたい。

◆秋保地区の二口林道全面舗装に伴いトイレの増設について

◆県道仙台村田線について

質問: 道路拡幅4車線化、馬越石トンネルの通行の安全整備をすべき。

答弁: 馬越石トンネル付近の道路拡幅に対して、新たにトンネルを作る場合については、自然環境保全地域に指定されているため、トンネル上部のけもの道の確保などの課題があることから、これまで既存の道路を活かしながらの拡幅ができないか検討してきたところである。県道仙台村田線の折立から茂庭交差点にかけての区間は、都市計画道路茂庭折立線として幅員16mの2車線で計画決定され、概成済み(整備が終わっていること)となっている。4車線化に向けての取り組みについては、まずは狭あい部である馬越石トンネルにおける通行の安全と円滑化に向けた拡幅などの検討を進めてまいりたい。

質問: 茂庭交差点付近の未整備となっている約400m分の歩道を整備すべき。

答弁: 全市の観点で歩行者数や沿道の土地利用の状況などを勘案しながら整備の必要性の高いところから検討してまいりたい。



- ・介護家族が孤立しないよう訪問型支援の推進強化。
- ・認知症本人に焦点を合わせ、自らの体験から他の認知症の人にアドバイスするピアカウンセラーの育成。
- ・若年性認知症の支援体制の拡充として、就労継続や障がい福祉サービスなどをつなげる「若年性認知症支援コーディネーター」の設置。

◆平成18年4月18日に県指定の「自然環境保全地域」に追加された まごいし 馬越石トンネル上部についての 認識と規制について



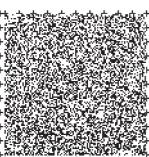
◆◆予算等審査特別委員会◆◆

市民費(2月28日)健康福祉費(3月5日)土木費(3月7日)

◆コミュニティセンターへのAED設置について

◆認知症の方とその介護家族の在宅支援について

- ・認知症本人や家族が地域で気軽に参加できる認知症カフェについて、利用する当事者のニーズに合った内容の充実や工夫、周知の強化。



※音声コードUni-Voiceは視覚障害者の方のための「文章読み上げ装置」用のコードです。装置は、仙台市内各区役所に設置しております。スマートフォンにも対応しており、iOS/Android用のアプリを公開しています。(無料)

◆◆皆さまの声を力タチにしました!(実績抜粋)◆◆

平成30年度に予算化され新規事業として実施することになりました!

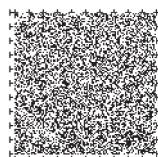
■秋保地区の駐車場2か所増設

秋保大滝は混雑する紅葉シーズンに間に合うよう、現在112台ある駐車場をさらに増設し、磐司岩を眺望できる姉滝付近への整備は県の林道工事スケジュールとの調整を図りながら早期供用を目指す。

■不妊に悩む方への特定治療支援(医療保険が適用されない体外受精、顕微授精)の助成額を拡充。(5万円上乗せ)

■産後うつ防止のため、出産後間もない時期(産後2週間、1か月)の産婦健康診査の費用を助成。(1人あたり5千円×2回分)健診等により、育児不安を抱え支援が必要な産婦に対して医療機関等で産後ケアを実施。

■復興公営住宅の家賃は、現在、低所得世帯を対象とした国の「特別家賃低減事業」により軽減されているが、入居後6年目から段階的に引き上げられることから本市独自の減免措置を求め、10年目まで据え置くことになりました。



※音声コードUni-Voiceは視覚障害者の方のための「文章読み上げ装置」用のコードです。装置は、仙台市内各区役所に設置しております。スマートフォンにも対応しており、iOS/Android用のアプリを公開しています。(無料)